

# 平成27年度 国民健康保険会計 予算案について

札幌市保健福祉局保険医療部

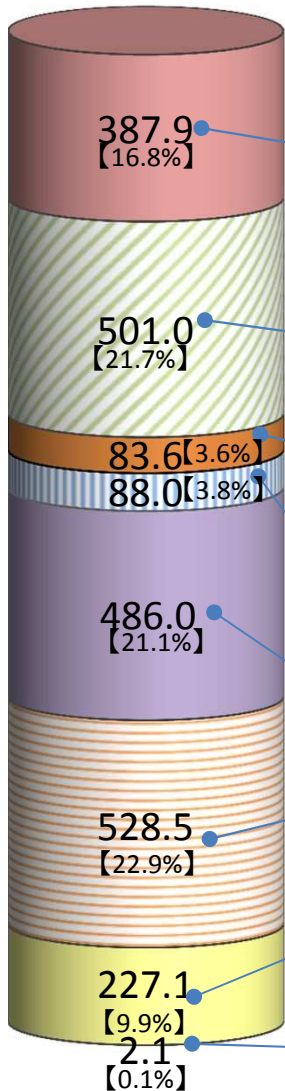


# 平成27年度国民健康保険会計予算案の概要

注)各項目を四捨五入しているため、合計が総額と一致しない場合がある。

## 歳入

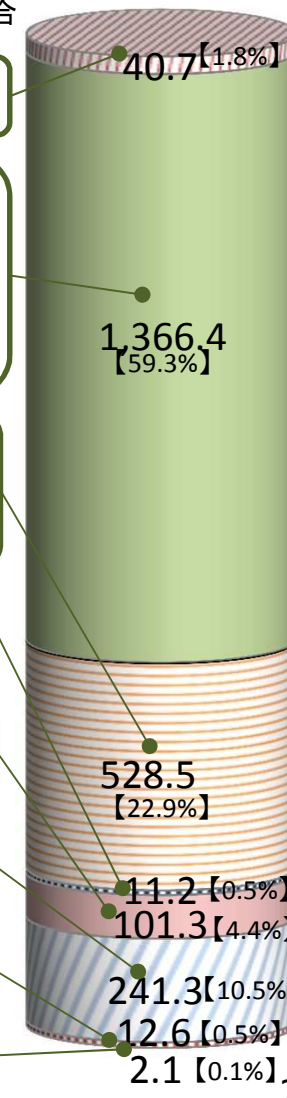
**2,304億円** ⇒ 対前年予算比 +232億円(+11.2%) 歳出も同額  
(単位:億円) 【 】は構成割合



- 保険料** 対前年度▲6.8億円(▲1.7%)  
世帯数の減等により減  
世帯数(全体):H26予296,000世帯→H27予291,600世帯  
収納率(全体分):H26予91.0%→H27予91.5%
- 国庫支出金** 対前年度▲15.4億円(▲3.0%)
- 道支出金** 対前年度▲23.0億円(▲21.6%)
- 療養給付費等交付金** 対前年度▲13.9億円(▲13.7%)
- 前期高齢者交付金** 対前年度+21.7億円(+4.7%)
- 共同事業交付金** 対前年度+264.8億円(+100.4%)  
保険財政共同安定化事業の拡大により大幅増
- 一般会計繰入金** 対前年度+4.5億円(+2.0%)
- その他** 保険給付費返還金等

## 歳出

(単位:億円) **2,304億円**  
【 】は構成割合



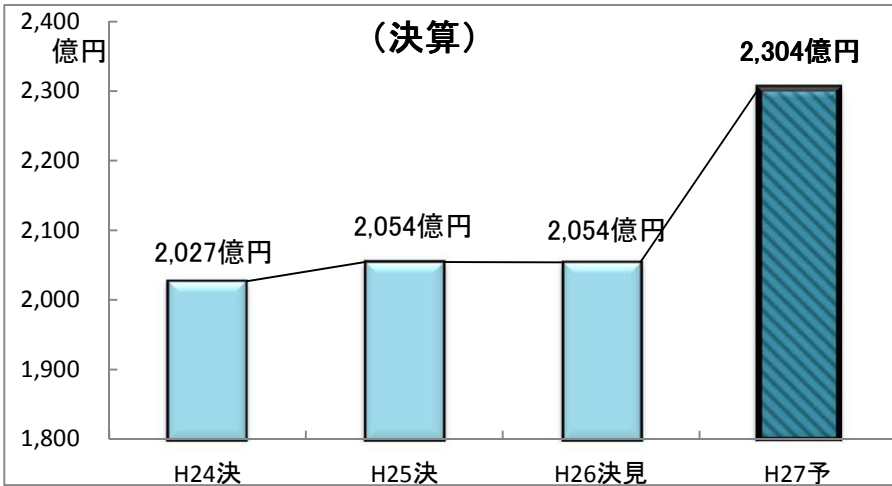
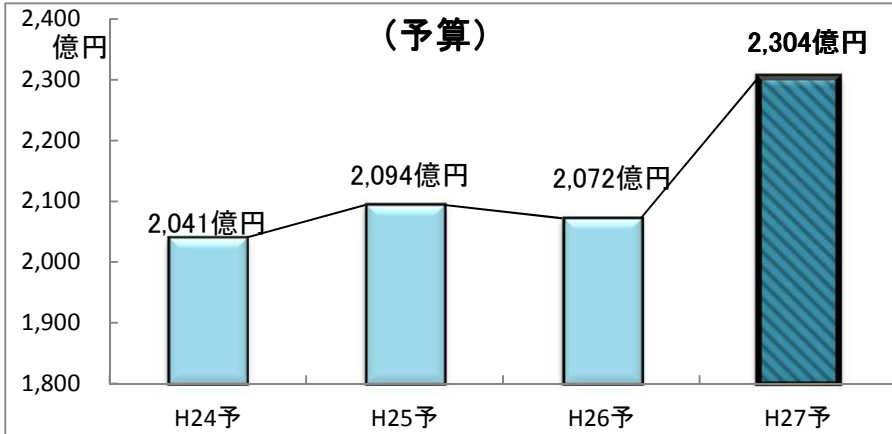
- 総務管理費** 対前年度▲0.4億円(▲0.9%)
- 療養給付費・療養費・高額療養費等** 対前年度▲21.5億円(▲1.6%)  
被保険者数の減少により減  
(被保険者数) H26予454,800人→H27予441,400人  
(一人当たり医療費)H26予369,057円→H27予371,124円
- 共同事業拠出金** 対前年度+264.8億円(+100.4%)  
保険財政共同安定化事業の拡大により大幅増
- 保健事業費** 対前年度+0.8億円(+7.8%)
- 介護保険給付費納付金** 対前年度▲6.0億円(▲5.6%)
- 後期高齢者支援金** 対前年度▲6.0億円(▲2.4%)
- その他給付費** 出産育児一時金・施術費等
- 諸支出金、予備費** 保険料還付金等

# 概要

## ○予算総額

・ 予算総額 2,304億円 (H26予算比+11.2%)

### 国保事業費の推移



保険財政共同安定化事業の拡大により、  
予算総額は大幅に増加となる

## ○制度改正案件等

平成27年度予算編成に関わる主な制度改正等は以下のとおり

### ■ 保険財政共同安定化事業の拡大(27年4月実施)

○ 保険財政共同安定化事業の対象が、すべての医療費に拡大される(現行は1件30万超の医療費が対象)。

○ 事業の総額が平成26年度予算比約2.3倍となる見込み(歳入・歳出とも)

※ 保険財政共同安定化事業: 都道府県内の市町村国保間の財政の安定化を図るため、市町村国保の拠出により負担を共有する仕組み。

### ■ 賦課限度額の引き上げ

○ 中間所得層の負担に配慮し、賦課限度額を引き上げ

医療分52万円(+1万円)、支援金分17万円(+1万円)、介護分16万円(+2万円)

○ 政令が改正され次第札幌市国民健康保険条例も改正し、政令通り実施することとしたい。

### ■ 保険料軽減基準の見直し

○ 経済動向等を踏まえた軽減判定所得の見直し

(5軽) 33万円 + 24.5万円 × 被保険者数 → 33万円 + 26万円 × 被保険者数

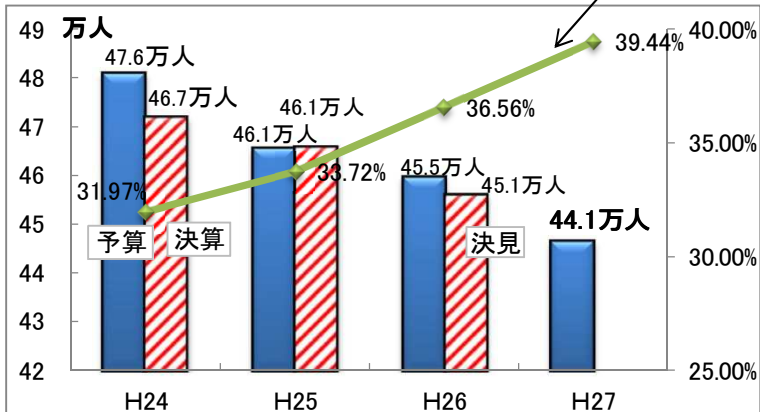
(2軽) 33万円 + 45万円 × 被保険者数 → 33万円 + 47万円 × 被保険者数

○ 政令が改正され次第札幌市国民健康保険条例も改正し、政令通り実施することとしたい。

# ▶ 歳 出 ①

## ○被保険者数

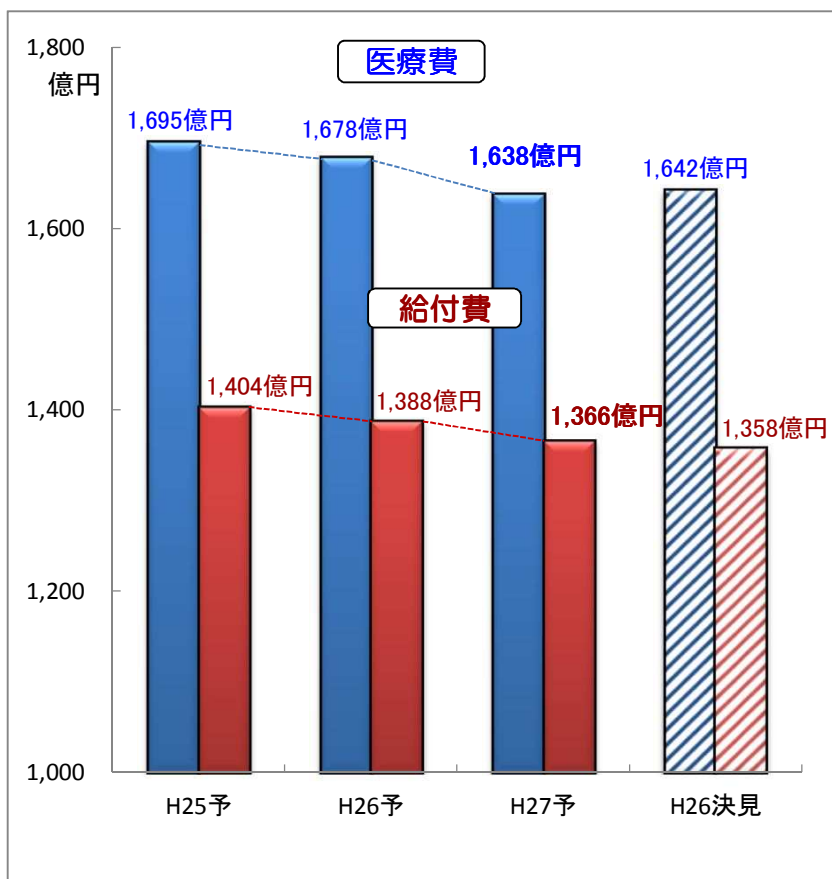
社会保険加入者の増などにより減少



加入者に占める前期高齢者の割合 (決算ベース)

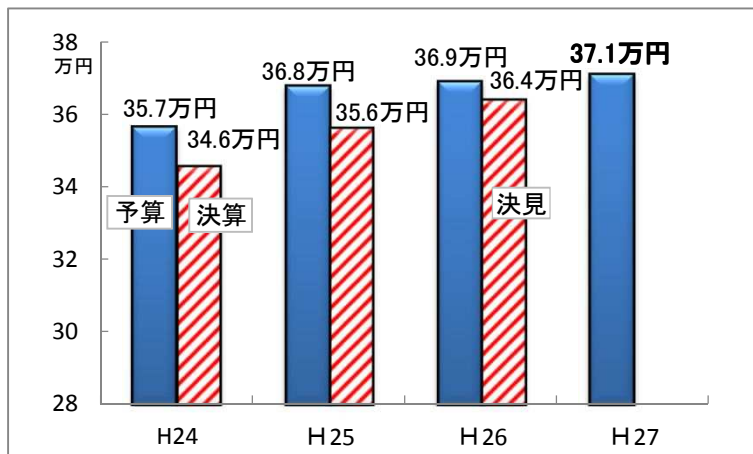
## ○医療費・給付費

被保険者数の減少により、医療費・給付費とも減少となった。



## ○一人当たり医療費

高齢化などの影響により増加



## ▶ 歳 出 ②

### ○医療費適正化の推進

#### ■特定健診・特定保健指導の強化

○地域と連携した特定健診・特定保健指導の実施率向上

【継続】

・出前健診、健診結果説明会、夜間住民集団健診等の開催

○健診受診率向上対策

・「健診結果の経年変化のお知らせ」【継続】

継続的な健診受診の意識づけ

・個別電話勧奨【継続】

#### ■医療費の効率化・最適化を図る取り組みの充実・継続

・レセプト点検【継続】

・柔道整復等療養費支給申請書の点検【継続】

・ジェネリック医薬品の普及啓発【継続】



### ○収納対策の推進

「現年度分収納率の一層の向上」と「滞納繰越分の圧縮」を図り、国民健康保険事業の運営及び保険料負担の公平性を確保するため、効率的・効果的に収納対策を進める。

・自動車差押え(タイヤロック含む)の実施【新規】

新たに自動車差押えを実施し、滞納処分強化を図る。

・財産調査の拡大【レベルアップ】

納付資力の適正な把握を行うため、財産調査対象世帯及び調査先を拡大し、財産調査の徹底を図る。

・保険サービス員制度の実施【継続】

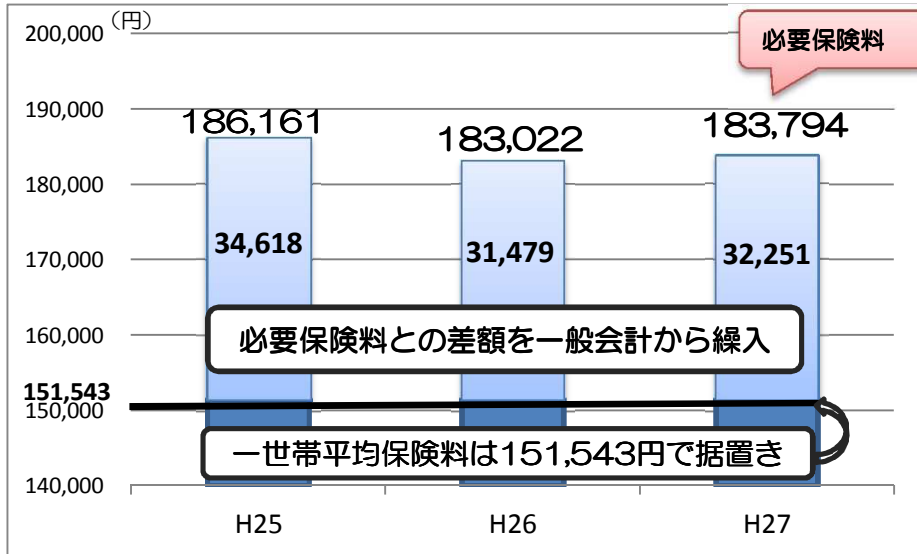
滞納の未然防止対策を強化し、保険料収入を確保するため、保険サービス員制度を継続実施。

・ペイジー口座振替受付サービスの実施【継続】

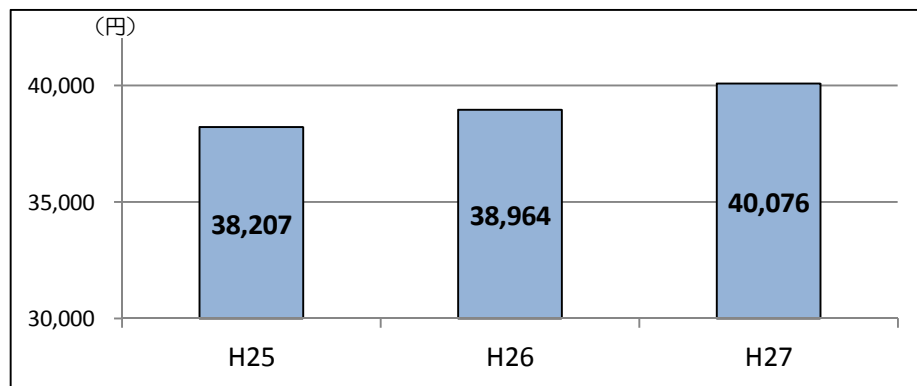
口座振替加入の促進を図るため、キャッシュカードだけで簡単に口座振替登録ができる「ペイジー口座振替受付サービス」を継続実施。

# ▶ 保険料 ①

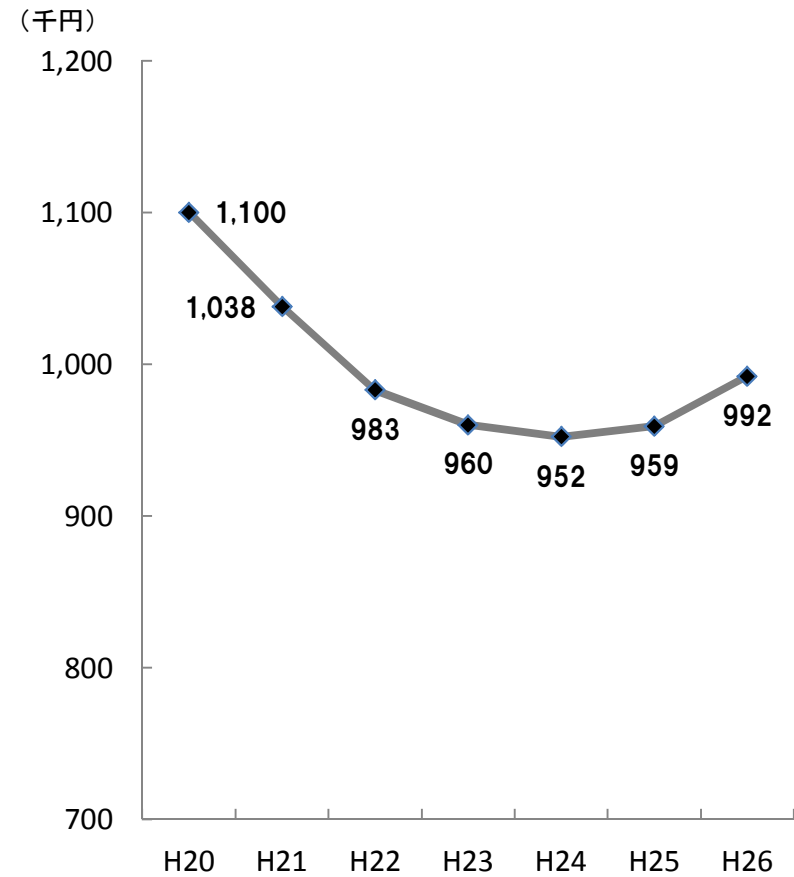
## ○必要保険料の推移（医療+支援金）



## ○必要保険料の推移（介護分）



(参考) 保険料率算定時の一世帯平均所得(一般分)

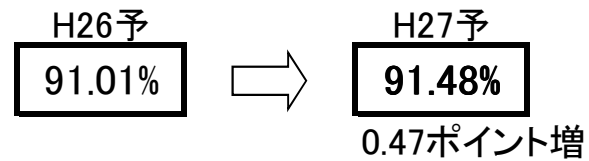


# ▶ 保険料 ②

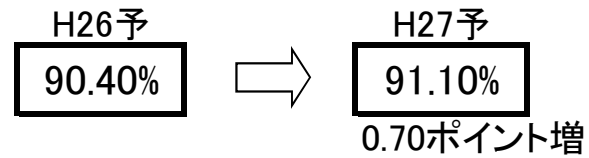
## ○ 予算目標収納率の設定

### ① 現年度分

#### ・全体分

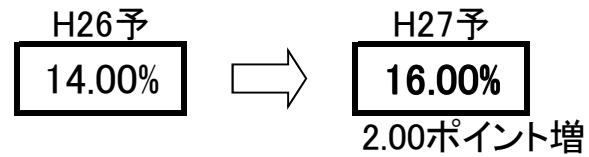


#### ・一般分

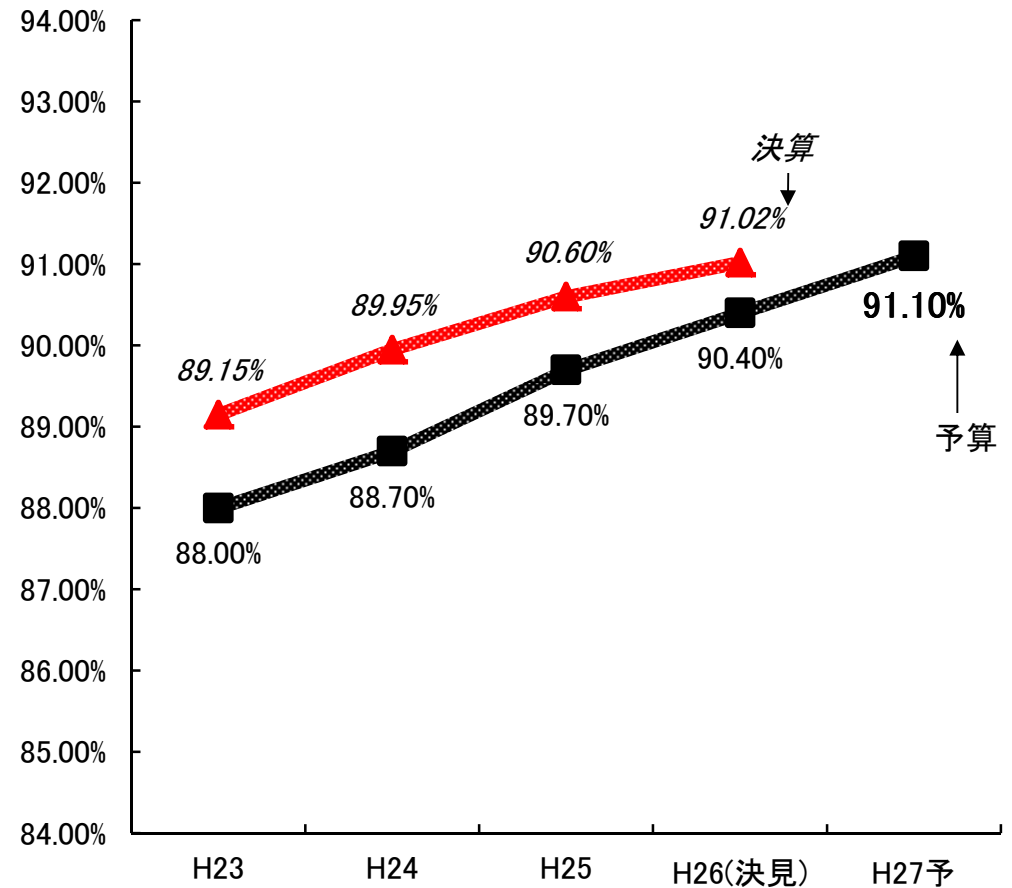


### ② 滞納繰越分

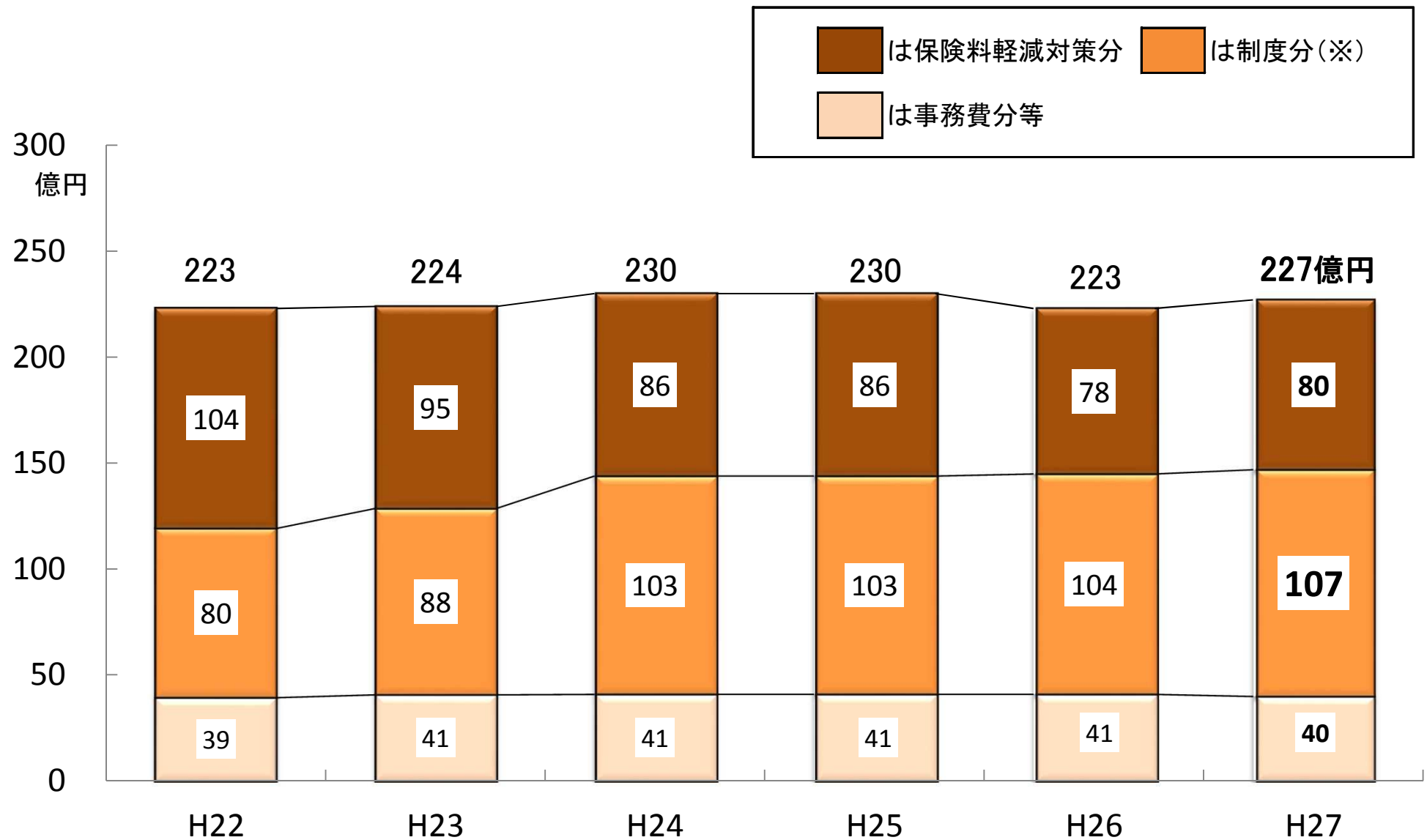
#### ・全体分



現年度一般分保険料収納率の推移(予算・決算)



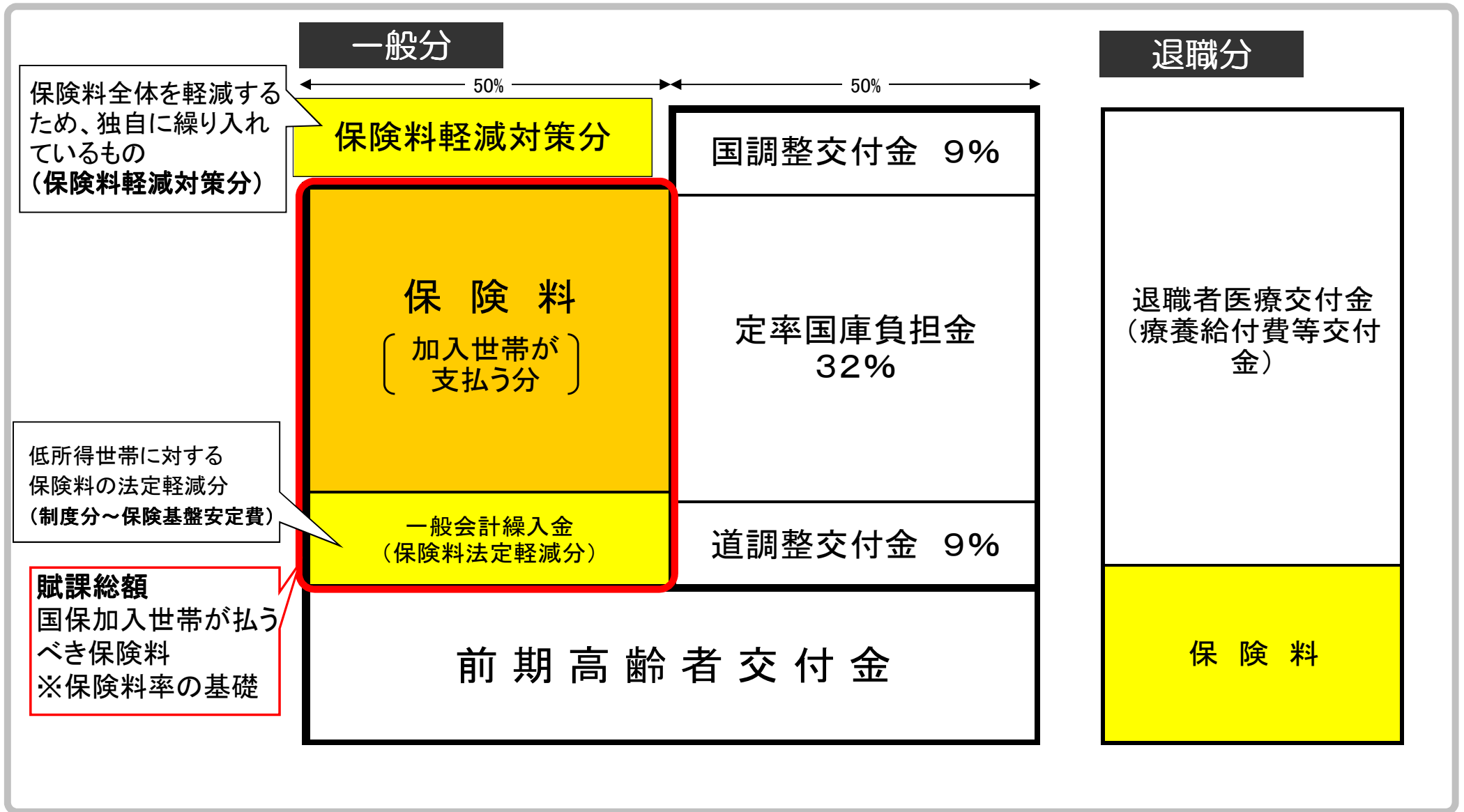
# ▶ 一般会計繰入金 (予算比)



※制度分とは保険基盤安定費分、地方単独事業費分、出産育児諸費分である。



# ▶ 給付費の財源構成



※上記以外の給付費(高額医療費共同事業拠出金等)については、他の財源ルールによる。